

岩手大学国連研修生との懇親会

岩手大学の国連研修で、2018年8月26日－8月31日の6日間の日程で岩手大学・大学院生4名、立教大学生1名（陸前高田出身）、引率の岩手大学職員の相川さん、そして学長特別補佐・客員教授の村上さんの7名がNYに来られました。

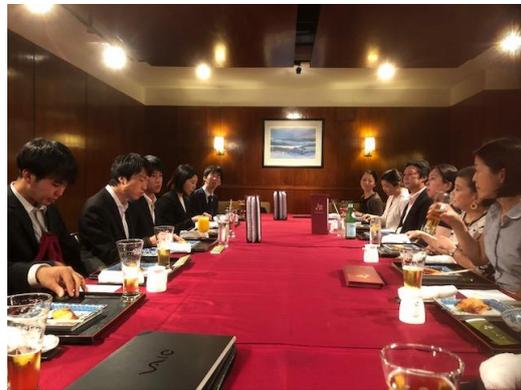
NY滞在中に当会との懇親会を希望されているという連絡をいただき、8月28日(火)午後6時半から国連、そして滞在ホテルからも近い、ミッドタウンにある「新橋レストラン」で懇親会を開催しました。連絡をいただいたのが、渡米の10日ほど前という、時間のない状況で、しかもちょうど夏休み期間で会員の中でもNYを離れている方がいたり、当初は参加者が集まるか心配しましたが、蓋を開けてみれば参加者9名と思った以上の集まりで、会員がどれだけ地元岩手の学生さんとの懇親会を楽しみにしているかが感じられました。

事前に会員への質問事項としてお知らせが届いてましたので、NYに住むようになった経緯、学生時代に考えていた事、そして学生達へのアドバイスなども含め、時折岩手弁が混じった和やかで笑いが絶えない懇談は時間を大幅にオーバーして4時間近く続きました。

陸前高田の復興の様子、そして岩手大学の関わりやその活動状況など、岩手から直接海外に発信し、様々な交流をしている様子には感心すると同時にこれからの可能性を大きく感じました。

村上さんご自身の経験や人脈でリーダーシップを取られ、復興にご尽力される事は岩手にとって大変貴重ですし、学生の皆さんが身近で多くを吸収し活動を続け、岩手の将来を担って行ってくれる事は大変心強く思います。

話は尽きず名残惜しくはありましたが、最後は地元岩手の復興が着々と進んでいる様子に安心して笑顔で帰途につきました。



(記事・写真提供：佐々木まり子様)

NY 岩手県人会名誉会長・岩崎雄亮様からのご投稿(2018.9.9)